学校番号	207

令和８年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし，生活や社会の中の多用な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成します。
- 基礎~応用と描写・色彩の実習をすることで少しずつ表現力と鑑賞力を付けていきます。
- 卒業制作に向け「自ら課題を探し、表現力や創造力を学び取る」授業づくりを目指します。
- 合評を通して完成作品のプレゼンテーションや相互鑑賞をおこないます。言語活動を通して自身の作品について発表する力つけましょう。
- 完成した作品を本校開催の美書展に展示・鑑賞し、個性の違いを認め合い、ものの見方感じ方を広げましょう。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を豊かにし、生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】

対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を追求し、個性を生かして創造的に表すことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

造形的なよさや美しさ，表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値観を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重し、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値意識を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	構成課題	【色彩構成】【鑑賞】 ・色の三要素、三属性、色相環、補色、配色について、教科書・プリント・参考資料等を使いながら学習する。 ・アクリルガッシュを使用し、平面構成作品を制作する。 ・テーマに沿って形や色、文字を選び取り、明度・彩度・配色・構成等を工夫し表現する。 ・コラージュ（様々な素材を使用) ・合評 ・振り返りシート記入	a:造形の要素の働きを理解している。 a:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 b:作業工程を理解し、想像しながら見通しを持って制作している。 b:目的や機能との調和の取れた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 c:主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	作品	作品	制作の様子 作品 振り返りシート
2学期	卒業制作	【絵画】【デザイン】 【鑑賞】 ・2 学期を卒業制作期間とし、主に平面の卒業制作作品を制作する。 ・計画表と振り返りシートにより自ら毎回の授業を振り返り、今後の見通しを立て、長時間の制作を計画的に行う ・合評	a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 a:表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 b:造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、自己の価値意識を働かせて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 b:作業工程を理解し、想像しながら見通しを持って制作している。 c:美術の創造活動の喜びを味わい、美術や美術文化に関心を持ち、主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	作品	作品	制作の様子 作品 振り返りシート

3学期	鑑賞・デッサン	【絵画】【鑑賞】 ・美書展鑑賞 ・基礎デッサンを中心に行う。 ・ものをみる視点や順序立てたデッサンの工程を学ぶ。 ・明暗や質感の捉え方、遠近感等の表現力を養う。 ・合評	a:デッサンの技法を理解し、鉛筆の特性を生かして創造的に描いている。 a:モチーフと光の関係性を把握し、質感や立体感などの表現すべきポイントを理解している。 b:モチーフとデッサンを見比べることを常に実行し、客観的な捉え方で気付きを得ている。 b:造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図や工夫について考察を深めようとしている。 c:差をつけて表現することやモチーフの形について積極的に検討し、表現したり、修正したりする活動に主体的に取り組もうとしている。 c:生徒の作品を鑑賞し、様々な作品に対して関心をもち、理解を深めている。	作品	作品	制作の様子 作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度